

■第 8 回あきたスマートシティ協議会 議事録

日時	平成 24 年 11 月 19 日 (月) 14:00～16:00	
場所	秋田市役所 正庁	
参加者 (敬称略)	検討会 委員	NPO 法人科学協力学際センター：川添理事長（委員長） 秋田大学教育文化学部地域科学課程：西川准教授（副委員長） 東北大学大学院環境科学研究科：古川准教授 秋田県立大学システム科学技術学部建築環境システム学科：板垣准教授（欠席） 東北電力株式会社 秋田営業所：菅原副調査役 東部ガス株式会社 秋田支社：佐藤副支社長 秋田商工会議所：岩本専務理事（欠席） 一般社団法人あきた地球環境会議：福岡事務局長 秋田県産業労働部資源エネルギー産業課：三浦課長 秋田県生活環境部温暖化対策課：石郷岡課長 日本 IBM 株式会社：加茂 Smarter City 事業第二社会インフラ事業開発部長 ジョインコントロールズ インク：三田村ディレクター アイ・エム・サービス株式会社：大山取締役統括部長 コクヨ株式会社 RDI センター：飯沼課長（欠席） 秋田市環境部：佐藤部長 株式会社日本総合研究所：小長井 マネージャー 計 13 名（順不同）
	事務局	秋田市環境部、株式会社日本総合研究所
配布資料	資料 1 あきたスマートシティ・プロジェクト推進協議会 委員名簿 資料 2 シンポジウム発表資料（基調講演、各分科会） 資料 3 シンポジウム議事録（各分科会） 資料 4 地産エネルギーWG 協議会報告資料 資料 5 地域 E S C O ・ L E E D W G 協議会報告資料 資料 6 各 WG 協議会報告資料 資料 7 第 7 回協議会議事録	

1 シンポジウム報告

事務局より資料の説明を行った。

- ・多くの市民の方にご参加いただき、分科会では会場からご意見をいただき有意義な場となった。

2 地産エネルギーWG 報告

事務局より資料の説明後討議を行った。主な議論は以下のとおり。

- ・ペレットストーブについて、現状、現代的なデザインが好まれる傾向はある。一方、昔ながらの燃焼窓が大きい製品もある。製品のデザインの向上が普及拡大に寄与する可能性はあると考えられる。
- ・家庭用ペレットストーブについては、まず暖房器具の選択肢のひとつとして認知してもらい、暖房器具購入の際の候補に入れてもらう必要がある。

3 地域 ESCO・LEED WG の報告

事務局より資料の説明後討議を行った。主な議論は以下のとおり。

- ・ESCO 事業の取組みを、今後市内で推進できるように地元事業者の育成を図っていきたい。
- ・エネルギー関係事業者とも必要に応じて連携し、取り組んでいく。

4 各 WG 報告

事務局より資料の説明後討議を行った。主な議論は以下のとおり。

(1) 情報統合管理基盤 WG

- ・地震前後（2010年と2012年について）でエネルギー消費量を比較したが、地震前後で業務の運用を変えたり、機器の仕様が異なっていること等が想定されたため、今後条件の違いについて詳細に分析する必要がある。
- ・エネルギー使用量の計測データについて、5ヶ月（5月～9月まで）を見た場合と、1年間で見た場合とではおそらく結果が異なる。季節変動もあるため、長期間で計測したデータについて分析する必要がある。

(2) グリーンツーリズム WG

- ・来年度は県外からの集客も想定してイベントを企画していきたい。

(3) 環境リーダー・ビジョン WG

- ・シンポジウムで展示をした90歳ヒアリングのイラストについては、イラストひとつひとつに意味があるため、今後それらを伝える工夫をすべき。
- ・イラストの活用方法については、要検討。

(4) 低炭素モビリティ・電子地域通貨 WG

コメントは特に無し。

(5) 協議会スケジュールについて（事務局より）
次回第9回協議会は2月中旬以降に開催を予定。
詳細については別途連絡する。